

宝田芳浩選手 CMSC 札幌 激戦区のAⅣクラスを制し全日本ダートトライアル第1戦優勝。

今季開幕戦となる全日本ダート第1戦が、4月21日栃木県黒磯市の「丸和オートランド那須」で開催されました。今季からA・B車両とも排気量によるクラス区分が大きく変更された影響もあり、エントリー台数も大幅に増加。計161台が参加しました。三菱車は計88台が参加し、結果はAⅡ・Ⅲ・Ⅳ・CⅢの4クラスで圧勝。相変わらずの“三菱車強し”を印象づけました。

当日朝、この季節には珍しく小雪がばらつきましたが、第1ヒートスタート時にはやや湿ってはいますがドライ状態。第2ヒートには完全ドライとなりました。AⅢクラスは過去に数々の戦績を残したミラージュ・サイボーグターボのCMSC岐阜・三枝光博選手が優勝。三枝選手は5月の第3戦(信州)でも2勝目を挙げています。AⅣクラスは参加24台中ランサーEVⅢが19台を占め、ランサー同士、CMSC同士の激戦の構図は昨年そのまま。今季初戦で勝利したのはCMSC札幌・宝田芳浩選手。2位にはCMSC岐阜・榎田正文選手。宝田選手は昨シーズンのシリーズ4位。第3戦では3位に入り、3戦終了現在ポイントトップです。'94年に獲得したチャンピオン。今季は奪回が期待できそうです。



ポイントトップを走る宝田選手の走り。右上、初戦勝利の宝田選手。

CMSC埼玉 田口幸宏 全日本ラリー第3戦優勝記

「平常心」これが今年のキャッチフレーズです。勝ち運に見放されて早1年以上が過ぎようとしていました。速さとナビゲーター減点にはそれぞれ自信のある我がクルーではありますが、マシントラブル、コースアウトによりなかなか結果を残すことが出来ず、そろそろ焦りを感じてきていました。そこで、上記キャッチフレーズを考えイベントにリラックスして望みました。思惑通り、岩はゴロゴロ、穴はポコポコの悪路のコースに平常心のないクルーはドライビングミスを連発し、「平常心」を保った我がクルーが優勝する事が出来ました。走りはまだまだ満足のいくレベルに達していませんが、新型ミラージュの真価を問われる初めてのグラベルイベントで記念すべき1勝目を取ることが出来、非常に満足しております。まだまだ生まれたばかりの発展途上の車ではありますが、自分の走りに合わせたセッティングを早く見つけ、更なる進歩を遂げ、連勝街道まっしぐら……となるようがんばりたいと思います。

全日本ラリー第3戦優勝!



平常心で夜も快走。右下、表彰式での田口選手(左)。

今季好調。CMSC道北 鎌田豊選手、 新型ミラージュで全日本ラリー第4戦優勝!



'96全日本ラリー選手権の前半戦最後のラリーとなる「モンレー'96」が、5月25～26日群馬県甘楽郡の約200kmのコースに計59台が参加して開催されました。今年のコース設定は3ステージ、10ヶ所のSSが設けられました。

Bクラスは新型ミラージュを駆るCMSC勢同士の激戦が予想されました。第1ステージからCMSC埼玉・田口幸宏選手、CMSC鹿児島・原口真選手、CMSC道北・鎌田豊選手が三つ巴の大接戦を展開。勝負は夜8時30分過ぎのスタートとなる第3ステージに持ち込まれました。SS5を終わって3位につけていた鎌田選手はSS6、7で立て続けにトップタイムをマークして一気に首位に。ここからは逃げの一手で原口、田口両選手を振り切り、今季2勝目を挙げました。鎌田選手はこの第4戦が新型ミラージュでのデビュー。今季はここまで全戦3位以内で表彰台に上がっており、2年ぶり2回目のチャンピオン獲得に向けて優位に立っています。

今季は全て3位以内、好調の鎌田選手と愛車の走り。

CMSC広島 5月19日

CMSC広島ダートトライアル'96

昨年とは打って変わったのピーカン天気、暑さとホコリの中行われたF地区シリーズ第4戦。参加台数は非常にサビシー98台。コースはスーパーイケイケハイスピードでエントラントの評判はVery Good! AIIクラスではオフィシャルを蹴って出場の佐々木優選手が1位は逃したものの、2位から6位は全部ミラージュ。続くAIIIではミラージュの次朗丸選手が開幕戦からのぶっちぎり4連勝。AIVもラリードライバーからダートトライアルになった二野下選手の1位以下ランサーが上位を独占し、やっぱり三菱強し! なんとか終わった今回のイベントでは期待外れ(?)の転倒ゼロ。いろいろと反省する点がありますが、無事終わって良かったです。来年はもっと台数を集めて、盛大で豪快なイベントを行おうと思います。その時は皆さんヨロシクお願いします。

(CMSC広島 平原和幸)

上位独占、三菱強し!



写真左上、AII2位の佐々木選手の走り。左下、三菱賞表彰。右、AIV1位二野下選手の快走。

CMSC帯広 3月10日

雪上練習会

十勝インターナショナルスピードウェイ内に設置されたラリーコースを借り、ウィンターシーズンを締めくくる雪上トライアル練習会を行いました。今年は北海道の冬のトライアルではスパイクタイヤが復活したこともあり、練習会もスパイクタイヤを持ち込んでの豪快な走りを堪能することができました。スパイクタイヤが復活したと言っても既にタイヤを手放した人も多く、持っている人も使い古しのタイヤを引ッ

スパイクタイヤ復活!

張り出しでの参加で、いつまで続けられるかわからない状態では寂しい限りです。

ウィンターシーズンも終わりいよいよ本格的なダートシーズンですが、最近ではレースに参加するチーム員も増えてきたので、夏にはサーキットコースを借りての練習会を計画しています。

(CMSC帯広 中村洋次)

